

卒業生への餞(はなむけ)

校長 小柳秀記

皆さんの高校生活はこれで終わりますが、学ぶことが終わったわけではありません。進学するにせよ就職するにせよ、自分が求めようとするものを得るためにも、他から求められることを満たすためにも、学ぶ営みは続きます。人は、学ぶ営みをとおして成長し続けますが、自ら学ぼうとしたときにもっともよく成長するものです。

「高校生活は楽しかった。」という声がある一方で、「様々なことを強制されるし、人間関係もうつとうしい。」というつぶやきも聞こえてきます。今の世は「効率の良さ、便利さ、手軽さ」に価値を見出す時代ようです。だからといって、自分には関係ないものを無駄なものとして切り捨て、人間関係の煩わしさを避けようとする態度は、人間として健全な生き方とは言えないでしょう。人生という長い道は、必ずしもたやすく迎えられる道ではないのです。回り道を強いられることも度々あります。また、失敗や挫折は私たちを強く育ててくれるものです。若い時は苦労や失敗を恐れたり避けたりせず、物事に挑戦してほしいものです。

卒業生諸君の止むことなき学びと、より良き成長を願い、一人ひとりが実り多い人生を歩み行くようにとお祈りいたします。

旅立ちにあたって

3年次主任 日向稔也

卒業おめでとうございます。皆さんはこれから未知の世界に旅立つことになります。働く人は勿論ですが、進学する人にとっても新しい世界が待っています。ところで今世界は大きく揺れています。国内では出口の見えぬ不況が続き、世界に目を転じれば、イスラム各国では民衆の民主化要求の波が世界の秩序を大きく変えようとしています。同時に皆さん自身も同じように未知なる物を抱えているのではないかと思います。自分は何者なのか、何になり得るのか。自分で精一杯の決心・決断を下したとはいえ、これからです。未知なる世界に未知なる自分を連れて行く自分がいる。不安を煽るつもりではないのです。誰でも通ってきた道です。勇気を持って巣立って行ってほしいと思います。皆さんがこれから相手にする世界はみんな異なりますが、地に着いた歩みこそが大事なのだと思います。謙虚に学び続けることです。一步一步の成長が乗り切る力となるのだと思います。眉上げて、「さあいってらっしゃい。」



進学激励会・大学受験激励会



センター試験直前の1月14日(金)に進学激励会が、国公立大学入試前期日程直前の2月22日(火)には、国公立大学受験激励会が行われました。

激励会では、校長をはじめ年次主任、各担任が、心強い言葉、ユーモアあふれるアドバイス、そしてカー杯のエールで、試験を控える3年次生を激励しました。

生徒代表の言葉からは固い決意が感じられ、生徒たちの不安の表情はだんだんと消え、引きしまった表情へと変わりました。

すべての受験生が、自らの志望する進路を勝ち取ってくれることを祈っています。

進路講演会

2月17日(木)には、2年次生を対象に進路講演会が実施されました。講師に河合塾進学アドバイザーの大場正浩氏を迎え、3年次になる来年度へ向けての準備の大切さについて、体験談を交えながら貴重なお話をいただきました。

生徒たちは、時おり資料にメモをとりながら、熱心に耳を傾けていました。高校生活最後の1年間を実りあるものにするために、今回の進路講話は非常に刺激のある有益なものとなったようです。

2年次生にとって、この2月、3月の過ごし方は重要なものとなります。部活動にも力を入れながら、ぜひ進路を切り開く高校生としてのあり方を実践してほしいものです。

さようなら、ありがとう、ジャネット

9月から2年次の仲間として過ごしてきた、ハンガリーからの留学生ラースロー・ジャネットさんが、12月22日で酒田西高校での学校生活を終了し、新年を日本で迎えた後に、ハンガリーに帰国しました。いつも笑顔で周囲を明るくし、放課後は弓道部や書道部で活動し、充実した4カ月だったのではないのでしょうか。ハンガリーに帰っても、どうか元気で、自分の夢を叶えられるように頑張ってくれることを期待しています。

<本人より>



卒業生より

山形大学 地域教育文化学部 地域教育学科 合格

私が推薦入試を決意したのは、3年次の夏休みの三者面談のときでした。一般入試よりも早い時期に試験があるので、まわりの人と違う勉強をしなければいけなくて、不安になったり焦ったりもしましたが、他の推薦の友達と励まし合いながら、自分のペースを守っていくのが大切だと思いました。毎日、放課後は担当してくださった先生方と練習をしました。問題自体が解けても、実際に口で説明することが難しくて苦労しましたが、台本を作るなどして対策しました。口頭試問は頭の中で流れを作ってから答えることが大事です。教科書レベルの問題なので、教科書を熟読することを一番おすすめします。

試験までは、本当にたくさんの人に支えられて、乗り切ることができました。合格が決まった時は、応援してくださったまわりの人への感謝の気持ちでいっぱいでした。身近なみんなが味方をしてくれます。最後まで諦めずに、目標達成に向けて頑張ってください。

山形大学 農学部 食料生命環境学科 合格

推薦入試は、普段慣れていない面接や小論文などが行われるので、練習の段階であまり上手いかずにとっても苦戦しました。また、周りがセンター試験の勉強をしている中、面接や小論文の練習に力を入れていかなければならないので自分自身とても不安でした。しかしながら、私にご指導してくださった先生方や、自分の最後まで諦めないという気持ちが、私を合格に導いてくれたと思います。

試験までは、とにかく自分が学びたい学科の知識を深めようとしていました。小論文や面接に活用して活用できるからです。また、試験ではほどよい緊張と少しの余裕を心の中に持っていった方がよいです。試験会場の雰囲気は尋常ではないので、そこに自分自身が飲まれることなく、自分のペースを保って試験を受けることが大切です。結局、自分自身の力を信じて頑張ることが、推薦入試では一番大切です。なので、自分を信じて頑張ってください。

東京家政大学 家政学部 栄養学科 合格

私がこの大学を受けようと決めたのは9月に入ってからでした。8月まで部活を続けていた私は、誰よりも受験勉強に取りかかるのが遅かったと思います。少しでも受験の機会を増やそうと、一般推薦入試を受けましたが不合格でした。しかし、一度目標にした学校を簡単に諦めたくはありませんでした。それからは、ひたすら過去問を解き、出題の傾向を掴んで問題に慣れるようにしました。わからないところは何度も先生に聞き、苦手分野の問題は毎日触れて、「絶対に克服するんだ」という気持ちで臨んでいました。

このように強い気持ちで頑張ることができたのは、応援してくれた友達や家族、熱心に教えてくれた先生方のおかげです。受験勉強は孤独で辛いものだと感じるかもしれませんが、知識を身に付ければ付けるほど、勉強は楽しく思えてきます。また、周りには応援し、支えてくれる人がたくさんいるはずですよ。自分の努力を信じて、最後まで諦めずに頑張ってください。

酒田市役所 内定

公務員試験というのは、試験が9月から始まるので進学の人よりも半年早いスタートが求められました。なので、私も2年生の冬から受験勉強を始めました。しかし、公務員試験というのは、学校で習わないようなところがバンバン出てきます。そんな時は、セミナーに出て質問してみたり、参考書を読んで納得のいくまで答えを追及したりしました。

これから公務員を目指す人へ。現在、公務員という仕事は大変人気であり、倍率も高くなります。しかし、何よりも自分を信じて頑張ってください。受験は早いうちから勉強したものの勝ちです。その分、覚えられる量と時間が増えるからです。公務員試験は「広く浅く」がポイントです。

最後に、お世話になった先生方、さまざまな経費を出してくれた両親、共に戦った友人には本当に感謝しています。これから酒田出身の公務員として、そして酒田市職員として、粉骨砕身の覚悟で頑張っていきます！

荘内銀行 内定

私は勉強ができる方ではなかったので、就職試験にとっても不利な状況でした。でもそれは、どうしようもないことだったので、面接で挽回することにしました。

面接では、何か一つでも高校の3年間で学んだことや頑張ったことを、しっかり話せるとよいと思います。私は、部活のことを話しました。私の部活はきついことが多かったのですが、厳しい部活ほど最後に得るものが大きいと思います。それは必ず面接にも役立つので、部活は辞めずに頑張ってください。

あとは、明るく元気に笑顔で話せるともう最高です。笑顔を見て嫌な人はほとんどいないし、相手の印象もよくなるので、普段から誰かと話すとき、挨拶するときなど心がけるとよいと思います。

最後に、今まで支えてくださった皆さんありがとうございました。これからはバリバリ頑張っていきたいと思います。

